

2 海外水ビジネス

アジア諸国をはじめとした人口増加や都市化の進展に伴い、海外水ビジネスは2025年には約87兆円規模の市場になると予測されており、国の「日本再興戦略」や本市の「新成長戦略」の柱の一つに位置づけられている。

本市はこれまで培ってきた国際技術協力の実績やアジア諸都市とのネットワークなど本市独自の強みを活かし、北九州市海外水ビジネス推進協議会を中心に官と民が力を結集し一丸となった活動を行い、海外水ビジネスの発展、併せて国際貢献に取り組んでいる。

主な取り組み

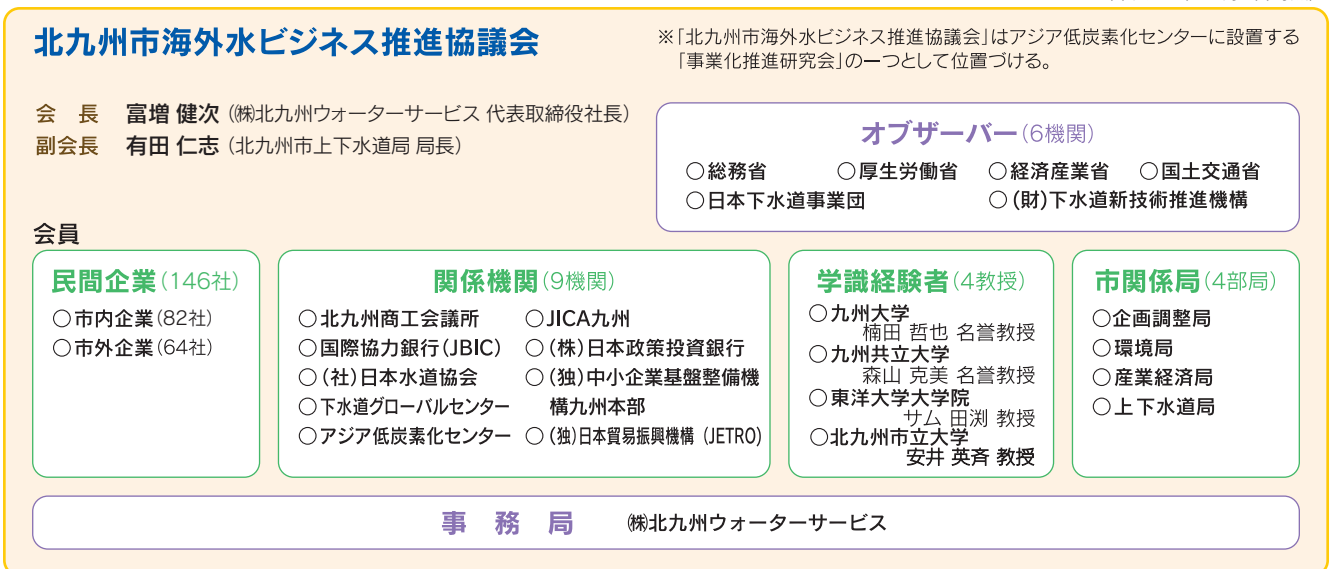
(1) 「北九州市海外水ビジネス推進協議会」の設立

平成22年8月、幅広い業種にわたる企業（設立当初57社）を始め、学識者、国の省庁等関係機関の参加を得て「北九州市海外水ビジネス推進協議会（以下、協議会）」を発足させ、全国の自治体で初めて、海外水ビジネスを官民一体となって推進する体制を整えた。

協議会では、これまでの技術協力で培った強い人的ネットワークを持つカンボジア国、ベトナム・ハイフォン市、中国・大連市、インドネシア国を対象に、参加企業や関係機関の情報共有を図り、海外展開の手法の検討、具体的な案件形成に向け、一丸となった活動を行っている。

「北九州市海外水ビジネス推進協議会」の組織体制

（平成29年11月1日時点）



(2) ミッション団の派遣

協議会の具体的な活動の第1弾として、平成22年11月にベトナム・ハイフォン市へミッション団を派遣した。

平成23年4月には、中国・大連市政府の要請に基づき大連市にミッション団を派遣。「北九州市水ビジネスセミナー」及び「展示商談会」を開催した。

(3) PR活動やビジネスマッチングなど

「VIETWATER 2013（平成25年10月）」に協議会ブースを出展、また、カンボジア国・プノンペン市での水ビジネスセミナー展示会・商談会に参加し、会員企業の技術を世界へPRした。

また、平成28年10月には、厚生労働省及び北九州市海外水ビジネス推進協議会とともに、「日本カンボジア水道セミナー&展示商談会」を開催。民間企業との協力により公害を克服した本市の事例を発表するほか、同協議会の会員企業とカンボジア国上下水道関係者とのビジネスマッチングを行った。

プノンペン市での水ビジネスセミナー
展示会・商談会

